

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-4-047

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災地域および被災者受入地域における支援拠点づくり活動

補助事業者名 特定非営利活動法人 エフ・オー・イー・ジャパン

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

宮城県石巻市北上町十三浜は、山地の間にある海に面した狭い平地に小さな集落が並ぶ漁村であることから、震災時の津波により壊滅的な被害を受けた。平地が少ないという地形的要因により、現在一部の住民は都市部などへ避難しており、今後は高台への移転が計画されているが、古くから住民の互助的な関係の下で成り立ってきた漁村にとっては、集落内の人々がバラバラになり、労働の場所から遠ざかることによる産業の衰退のみならず集落の崩壊自体が危惧されている。

本事業では、今後行政により計画されている居住地の高台移転までの空白期間における、集落の離散および地場産業である漁業の衰退を防ぎ、将来的なまちづくりに対し、住民の意思が反映されることを目的とし、ソフトおよびハード面双方における支援を実施した。

(2) 実施内容

本格的な地域復興までの過渡期において、漁業に従事するための海岸地域から離れている住民間のつながりを維持し、将来的な産業と社会の復興を目的に以下を実施した。

①宮城県石巻市北上町十三浜相川学区の住民を対象に会合を開催し、地域復興拠点の建設に関して連続的に協議した。十三浜地区全域の復興への住民の意思を反映するための活動は、北上総合支所および北海道大学が主導となって開始されたワークショップ、調査へ参加することで、活動の重複を避けながら実施された。



高台移転に関する住民説明会

②上記の会合やワークショップなどの流れに従い、集会所、水産物直売所、道具小屋などへのニーズから、本事業において優先的に整備すべき案件を具体化した。刻々と変化する住民ニーズに対応する困難さがあったが、住民が集まれる多目的なスペースの整備として具体化されたことで、ニーズに即した復興拠点を選択した。



住民参加の下、被災木を自ら製材

③上記のニーズの絞込みを受けて、地域復興拠点の整備を住民参加の下で実施。事前の想定よりも多くの被災住民が建設作業へ参加し、ほぼすべての工程を住民が自力で成し遂げた。

④地域の林産業者、工務店、設計士など、今後の街の復興の担い手となる方々で地域林産業のサプライチェーンを構築し、本事業後、将来的にニーズの高まる復興住宅供給に向けた検証、

展開についての検討を実施。本目的のために別途事業を形成し、宮城県地域型復興住宅推進協議会へ生産者グループとして登録した。

⑤情報発信は、小団体のメルマガ、ニューズレターにおいて実施された。また、事業実施地において活動する民間団体および自治体との情報交換を行ない、強力基盤の整備を行なった。



復興拠点を建設した被災地の住民たち



地元業者の組織化による復興住宅生産者グループ会議

2. 予想される事業実施効果

本地域復興拠点の整備により、他団体との関係も築かれ、隣接する土地に物産販売施設等を整備することで、道の駅、各種行事実施場所として複合的な復興拠点へ発展することが期待されている。また、被災地住民との関係基盤を活かし、今後の復興住宅建設においても住民のニーズを反映した復興住宅モデルの創出、提供への支援を実施する基盤が確立された。住宅供給の際には、本地域復興拠点において実現した、地域資材供給業者および地域材の活用を軸に、被災者自身が参画する震災復興の実現が期待される。

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 エフ・オー・イー・ジャパン

住所： 〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-22-203

代表者名： 代表理事 ランダル・ヘルテン

担当部署： 森林保全と生物多様性

電話番号： 03-6907-7217 FAX： 03-6907-7219（月～金曜日 10:00～18:00）

メール： sasaki@foejapan.org

URL： <http://www.foejapan.org/forest/#foresttop>